



# Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

## 福井県あわら市 F・Hさん

この度、娘が19歳の誕生日を迎えました。

長年に渡り、心温まる給付を頂きまして有難うございました。給付を受けながら「人に対する支援」ということを意識し、考え、勉強させられました。

娘が小学4年生になった4月、妻子は無謀運転の車に正面衝突されました。運転していた妻は他界し、助手席に同乗していた娘は、歯、肩、膝に受傷し、意識不明のまま病院に搬送されたため、母親の死を知らずに治療生活を送ることになりました。動く方の片腕を使い、ベッドの上で母の日のプレゼントを作っていた姿を思い起こすと今でも胸が苦しくなります。

その後、母親の死の事実を告げ、退院後はぎこちない父子家庭となりました。苦しみや悲しみや怒りから逃避せず、前向きに一生懸命生きてきました。娘の右足は後遺症で曲がっていますが、今では元気に大学に通うまでに成長しました。

娘の苦勞は今後も続きますが、悲惨な目に遭っているのは自分達だけではありません。先の震災でも多くの方が亡くなり、また、一生癒えぬ心の苦しみを引きずりながら、今後を生きて行かれる人々が沢山いらっしゃいます。

理不尽な犯罪に巻き込まれてやり場のない感情を背負って生活されている方もいます。娘には、人の辛さを理解して、可能な範囲と方法で人助けをするような、思いやりのある人間になって欲しいと思います。

同じ境遇の皆様方、お互いに今後も前向きに生きて行きましょう。皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

長らくの給付、有難うございました。娘に代わり御礼申し上げます。

## 宮城県仙台市 Y・Kさん

基金に加入した時、5歳だった娘も、今は保育士を目指し、東日本大震災の為、1か月遅れで始まった専門学校に、避難先の祖母宅から毎日元気に通い、充実した学校生活を送っております。東日本大震災という未曾有の災害に直面しながらも、家族3人元気に過ごせるのは、まわりの多くの方々のお陰と日々感謝しております。

本当に長い間お世話になり、ありがとうございました。下の娘があと2年お世話になりますので、今後とも宜しくお願い致します。

## 東京都八王子市 H・Mさん

この度私も19歳になり、長年にわたってお世話になりました皆様ともお別れをすることとなりました。父を亡くしてから15年が経ち、私達きょうだい3人は、それぞれ希望する大学に入学し、夢に向かって日々努力しています。こうして何一つ不自由なく生活することができるのも、皆様のあたたかいご支援があったからこそだと思います。心からお礼申し上げます。

これからは、いち早く立派な人間になり、社会に貢献することが皆様への一番の恩返しになると信じ、よりいっそう勉学に励んでいく所存です。

今後とも、あたたかく見守って下さいますようお願い申し上げます。それでは、お体にお気をつけてお過ごしください。



## 広島県広島市

N・Rさん

主人が亡くなってから、今年の3月で18年目を迎えます。この制度を知った時は、突然の出来事で悲しみから立ち直ることもできなかったため、よいお返事をすることもできませんでした。

長女と、生後40日目だった長男を抱きしめながら、ただただ毎日を涙で暮らしていたことを思い出します。でも、子供たちを立派に育てることが、主人の遺志だと思い、基金に入会し、子供と共に生きて行こうと立ち直ることもできました。基金だよりで、同じような境遇の方たちの手記を読んで、励まされたからです。

基金からの送金は、全て子供たちの教育費とさせていただきます。お陰様で、長女は小学校受験、中学校受験を経験し、私立進学校へと通学させることができました。ひとり親家庭にはもったいない教育をさせていると自負しております。

現在、国立大学医学部医学科を目指し浪人中ですが、勉強に打ち込んでいる娘を見ていて、心から応援している母です。経済的に私立医大は難しいため、合格しながらあきらめざるを得なかった昨年のことを考えると少し悔しいですが、娘のことを考えて、浪人を選び、必ず春には…と思っています。

子供達の未来に希望を持って育てることができた基金という存在に深く感謝しております。本当にありがとうございました。

## 基金終了時

19年間お世話になり、ありがとうございました。長男が生後40日目に、主人が亡くなりました。実家に帰っていた私達には連絡がつかず、お昼のニュースで主人の名前を見ておどろき、体がふるえた事を覚えています。

その時、2歳の長女と生まれたばかりの長男と、涙も出ず、抱き寄せたことも覚えています。

基金のおかげで、生活の質を落とすこともなく、小学校受験、中学校受験、浪人したので予備校へと経て、今春、無事大学へ進学することができました。学部は違いますが、主人の出身大学です。これも不思議な縁を感じます。子どもたち2人ともがお世話になり、今回のこのハガキが最後になることに、寂しさを感じると同時に、感謝の心でいっぱいです。本当にありがとうございました。

## 宮城県仙台市

Y・Kさん

基金に加入した時、5歳だった娘も、今は保育士を目指し、東日本大震災の為、1か月遅れで始まった専門学校に、避難先の祖母宅から毎日元気に通い、充実した学校生活を送っております。東日本大震災という未曾有の災害に直面しながらも、家族3人元気に過ごせるのは、まわりの多くの方々のお陰と日々感謝しております。

本当に長い間お世話になり、ありがとうございました。下の娘があと2年お世話になりますので、今後とも宜しくお願い致します。

## 北海道札幌市

S・Nさん

17年間、基金のおかげで、子供達も皆大きく育っております。3男も無事大学に合格し、今年は2年生になりました。3人それぞれの道を歩んでおります。いろいろ大変な事もありますが、乗り越えて、立派な社会人になって欲しいと思っております。

子供たちが大きくなり、少し手がかからなくなってきたなどと思うと、大変だった時期が懐かしくもあります。今一緒に暮らしている3男は、勉強やサークル活動、アルバイトと、忙しい毎日です。今まで本当にありがとうございました。

## 【基金事務局より】

秋の気配も漂いはじめ、さわやかな季節になってきました。

スマイルズ夏号で募集した、夏休み映画鑑賞券プレゼントの感想文を、今回もたくさんお送りいただきありがとうございました。いつも楽しく読ませていただいております。みなさんの夏休みの思い出作りに、少しでもお役に立てたのではないかと、嬉しく思っています。映画や小説は、時代も年齢も性別も越え、別世界に引き込んでくれますね。

芸術の秋です。みなさんも本や映画の中で、物語の主人公になってみてくださいね。